

第 345 回(令和元年9月)定例会
第 1 回各会派政務調査会長会 開催結果

1 日時

令和元年 10 月 3 日 (木) 午後 12 時 30 分から午後 12 時 55 分まで

2 場所

第 3 号館 6 階 第 2 委員会室

3 出席者

自由民主党	春名哲夫	政務調査会長 (座長)
	大豊康臣	政務調査副会長
ひょうご県民連合	竹内英明	政務調査会長 (副座長)
公明党・県民会議	越田浩矢	政務調査会長
維新の会	高橋みつひろ	政務調査会長
日本共産党	きだ 結	政務調査会長

(オブザーバー)

自由民主党	門間雄司	政務調査副会長
	村岡真夕子	政務調査副会長
公明党・県民会議	島山清史	政務調査副会長
ひょうご県民連合	向山好一	政務調査副会長
維新の会	増山 誠	政務調査副会長
日本共産党	入江次郎	政務調査副会長

(当局説明者)

水埜 浩 政策創生部長、守本 豊 ビジョン局長、木南 晴太 ビジョン課長

4 当日配付資料

別添のとおり

5 会議概要

(1)「県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例」に係る計画の審査

水埜政策創生部長から、令和元年度及び令和 2 年度前半に策定・改定を予定している 12 計画の概要について説明を受けた。

座長からは、議決対象計画の協議・調整は、12 月定例会の政調会長会で行うので本日は聞き置くのみとし、必要に応じて会派内での検討を進めて欲しい旨発言があった。

(2) 会派提案意見書案の趣旨説明

各会派から提出された次の意見書案について、提案趣旨の説明が行われた。

(自由民主党)

意1 避難所における生活環境の向上に係る対策を求める意見書

意2 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業等の事業期間の延長を求める意見書

(ひょうご県民連合)

意3 公職選挙法の改正を求める意見書

(公明党・県民会議)

意4 太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書

意5 あおり運転を厳罰化するための法改正等を求める意見書

(維新の会)

意6 インバウンドを地方創生の柱とする観光振興策の強化を求める意見書

意7 瀬戸内海を豊かな海によみがえらせる取組の強化を求める意見書

(日本共産党)

意8 精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引の適用を求める意見書

意9 保育における副食費の無償化を求める意見書

その後、座長から、次回の会議では、各意見書案に対する態度表明を各会派より行い、協議・調整に入る旨の発言があった。

(3) 日程確認

態度表明資料を10月9日(水)13時30分までに提出すること、第2回会議を10月11日(金)決算特別委員会の本会議昼休憩時に、第3回会議を10月21日(月)決算特別委員会の本会議昼休憩時に開催することをそれぞれ確認した。

(4) その他

10月2日(水)に北朝鮮が弾道ミサイルを発射し、日本の排他的経済水域に落下したものとみられることから、春名座長より場合によっては県議会として決議が必要になる可能性を示唆した。